

大会運営規定

1. 各チームとも試合開始 60 分前には集合すること。
2. ベンチは組合せの若番を一塁側とする。
3. 試合中ベンチに入ることのできる人員を次の通り制限する。
責任者、登録選手、マネージャー、スコアラーの計 23 名以内とする。
4. 試合前のシートノックは 5 分以内とし、ノッカーは必ずユニフォームを着用すること。尚、大会運営上シートノックを行わないで試合をすることがある。
5. 試合前の球場内でのフリーバッティングは認めない。
トスバッティングなどは相手チームの練習に支障のない範囲で内野のファウルグラウンドで行うこと。
但し、打者は天然芝は避けて行うこと。
6. バットリング、マスコットバットは使用しない。
7. 試合回数は全試合トーナメント方式 9 回戦とし、得点差（7 回以降 7 点差）のワールドゲームを適用する。
8. 延長は原則として 12 イニングまで行う。
但し、天候のほか諸問題のある場合は別途、協議のうえ決定する。
9. 9 回を終了して同点の場合は 12 回まで延長戦を行い、13 回よりタイブレークとする。
{タイブレーク}
継続打順の無死一、二塁とする。したがって、前回の最終打者を一塁走者とし、二塁走者は順次前の打者とする。
10. 大会使用球は（公財）全日本軟式野球連盟公認球 M 号とする。
11. メンバー表は自チームの控えを除き 5 部提出し、前の試合の 5 回終了後、大会本部にて交換する。
12. 打者、次打者、走者及びベースコーチはヘルメットを、又捕手は捕手用ヘルメット・プロテクター・レグガード、ファールカップ（男性のみ）を必ず着用すること。
13. 上記及び金属バット、捕手用マスクは公認マーク入りのものを使用すること。
14. 出場選手及び監督、コーチはユニフォーム（背番号 0 番から 99 番までとし、監督 30 番、コーチ 29 番、28 番、主将 10 番とする。）を着用すること。
15. 試合は、無駄な時間を省きスピーディーに行うこと。
16. 本規定に定めていない事項、明確でない事項は、全日本軟式野球連盟の定める規則・
規則による。
17. 最終試合となったチームは試合終了後、ダッグアウトの清掃を行うこと。